

あんこう釜飯の企画開発支援

【相手先企業】

茨城町商工会

【目的】

茨城町商工会では地域興しの一環として特産品開発をすすめており、地元農産物と笠間焼を組み合わせた「あんこう釜飯」の開発を共同で取り組みました。あんこう鍋は茨城県の特産物として知られていますが、特有の臭みを解消した味付けにより釜飯に応用、家庭でも手軽に楽しめる商品化について、工業技術センターが支援しました。

【内容】

1) 具材の開発

茨城町産の素材（しいたけ、たけのこ、こしひかり）で地域興しを企画、県産素材である「あんこう、こんにゃく、笠間焼」とで相乗効果を狙う

2) 商品の開発

地元釜飯商社とのタイアップで茨城ブランドとして展開を図る、専用設備がない飲食店への展開で観光資源としての可能性も見込む

3) プロモーション

記者発表（NHK テレビ、各紙新聞）、町内物産センターで販売、地域イメージアップにも還元

【成果】

新しいマーケティングは、顧客の意識を探り、コンピテンシーを生かし、協働ネットワークでマネジメントすることと言われ、現代スタイルを念頭に置いた地域資源開発及び販売支援とすることができました。

昨今の食生活は「個食・孤食」「ファーストフード化」等と画一的になっていますが、同品により「食事の楽しさ」が再認識される一助になることを期待します。

基礎となった事業：試験研究指導事業（技術支援及び技術相談）

担当部署：産業連携室

